

「私と野球」

田川支部 田川県土整備事務所 吉田壮顕

私は田川県土整備事務所に所属している吉田 壮顕と申します。この場をお借りして私と野球のことについて話したいと思います。

私は今から 20 年前の 2002 年、野球一家の次男坊として生まれました。周りは皆、野球をしていて、兄の試合やプロ野球の試合を観戦するにつれて私自身野球に興味を持ち始めたのを覚えています。

野球を始めたのは、小学校 4 年生の時で地元の友達 9 人と地元の野球チームに入部しました。ポジションはピッチャーとショートを守っていました。毎日、夜遅くまで練習をしていました。練習の成果もあり、小学校 6 年時には、県大会優勝を数回経験することができました。この時改めて野球の楽しさを実感しました。

中学生になると野球のレベルも格段と上がり、先輩後輩との上下関係も生まれ、日常生活の細かいことや、挨拶など礼儀に対することでよく先輩や先生に怒られこのままやっていけるのかなど、不安になっていたのを覚えています。今になると周りへの気配りや、挨拶など身に着けることができたので、教えてもらったことへの大切さを実感しています。中学校 3 年時には、県大会準優勝を数回経験しました。九電旗という全国大会まで繋がる大会では、勝てば九州大会というところで、タイブレーク戦までもつれこみましたが、逆転サヨナラ負けしました。あと一步で九州大会、全国大会なだけあってとても悔しい思いをしました。1 度は、九州大会や全国大会に出場しなかったなと思います。

高校では、市内の高校に進学し部員数も中学時の 3 学年合わせた 20 人から約 70 人となることで、試合に出場することが当たり前環境から部員との競争を勝ち抜く野球へと変わり、日が暮れるまで練習や休みの日でも自主練をしました。その甲斐あってか、高校 2 年時にレギュラーを勝ち取ることができました。3 年時では主将を務め部員全員をまとめる立場となり、より部員への気配りなど自分自身を成長させることができました。最後の大会は新型コロナウイルスが流行し始めたため、中止となりました。

この野球生活 9 年間で礼儀や、気配り、仲間の大切さ、支えてくれる人の大切さなど、人生で 1 番大切なものを学べたと思っています。この 9 年間、好きなように野球をさせてくれた親にはほんとに感謝です。

そして今、田川県土で野球をしています。部長杯では準優勝まで勝ち上がることができました。そこで他の県土の人とのつながりなど、プレーする以外にも、たくさんのことを教えてくれる野球には、感謝しかありません。

最後に、田川県土野球部は部員が少なくなっています！田川県土に異動になった際には、ぜひ野球をしましょう！部員皆で待っています！

